記載例

既 存 不 適 格 調 書

年　　月　　日

建築主事　　様

建築主　住所　　**〇 〇 市 〇 〇 町 〇−〇−〇**
氏名　**増　築　　太　郎**

既存建築物について、適切に建築されていることを調査したので報告します。

確認済証 番　　号	☑有り（**昭和〇〇年△△月△△日　第△△△△△号**　） □無し
検査済証 番　　号	□有り（　　） ☑無し
建築場所	**〇 〇 市 〇 〇 町 〇−〇−〇**
既存建築物を 調査した者 氏名・電話番号	（ **一級** ）建築士　（ **大臣** ）登録　第　　号 （ **一級** ）建築士事務所　（ **〇〇** ）登録　第　　号 氏名　改　築　　安　子 （電話 **〇〇 − 〇〇〇〇 − 〇〇〇〇** ）

状況報告事項 **・既存建築物は、昭和 52 年に建築** **・既存不適格事項については、別添調査書のとおり**	
備考欄	建築主事又は確認検査機関記入欄

本調書を構成する図書

１．現況の調査書（所定の記入欄への必要事項を記載）
２．既存建築物の平面図及び配置図（増改築の履歴がある場合は、当該部分を示す必要があります）
３．新築又は増改築の時期を示す書類
　・検査済証
　・検査済証が無い場合は、確認済証又は確認台帳の記載事項証明（建築確認を行った機関が交付したもの）に加えて、工事の実施を特定できる書類（工事契約書等、登記事項証明書等）
　・建築確認台帳が災害等により滅失している場合は、建築確認後の工事の実施を特定できる書類
４．基準時以前の建築基準関係への適合を確かめるための図書等（法第６条第１項第四号などの小規模建築物については、１．現況の調査書が兼ねます）

記載例

現　況　の　調　査　書

私　**増 築 太 郎**　は、今般下表の「３計画概要」の計画をしていますが、既存建築物の現況を調査しましたので報告いたします。

この調査書に記載の事項は事実に相違ありません。

様

〇〇年**〇〇**月**〇〇**日

建築主　住　所　**〇〇市〇〇町〇－〇－〇**

氏　名 **増 築 太 郎**

電話番号 **〇〇－〇〇〇〇－〇〇〇〇**

１．代　理　者	①　氏　　名	**改 築 安 子**		
	②　住　　所	**△△市△△町△－△－△**		
	③　電話番号	**△△－△△△△－△△△△**		
２．調　査　者	①　資　　格	（**一級**）建築士　（**大臣**）登録　第　**〇〇〇〇**　号		
	②　氏　　名	**改 築 安 子**		
	③　建築士事務所名	（**一級**）建築士事務所（**〇〇**）知事登録　第　**〇〇〇〇**　号		
		〇〇△△建築設計事務所		
	④　所在地	**△△市△△町△－△－△**		
	⑤　電話番号	**△△－△△△△－△△△△**		
３．計 画 概 要	①　敷地位置	**〇〇市〇〇町〇－〇－〇**		
	②　現況主要用途	**専用住宅**	③　予定建築物用途	**専用住宅**
	④　工事種別	☑増築　□改築　□大規模の修繕　□大規模の模様替え　□用途変更		
	⑤　予定建築物確認申請予定年月日	**〇〇**年**〇〇**月確認申請予定		
４．審査結果概要	①　集団規定	☑適法　□既存不適格		
	既存不適格条項			
	②　構造耐力関係規定	□適法　☑既存不適格		
	既存不適格条項	**法 20 条に基づく令 38 条 3 項に規定する基礎の構造が不適合（基準時：平成 12 年）** **法 20 条に基づく令 46 条 4 項に規定する必要壁量が不足（基準時：昭和 56 年）** **法 20 条に基づく令 47 条に規定する継手又は仕口の構造方法が不適合（基準時：平成 12 年）**		
	③　上記以外の規定	□適法　☑既存不適格		
	既存不適格条項	**法 28 条の 2 に基づく令 20 条の 8 に規定する換気設備（24 時間換気）が不足（基準時：平成 14 年）**		
	④　増改築等の履歴	**平成 10 年に、2階納戸を便所に改修：図示**		
	⑤　既存部分の劣化状況	**目視等により調査した結果、構造耐力上支障となるような損傷、腐食その他の劣化の状況は認められません。**		